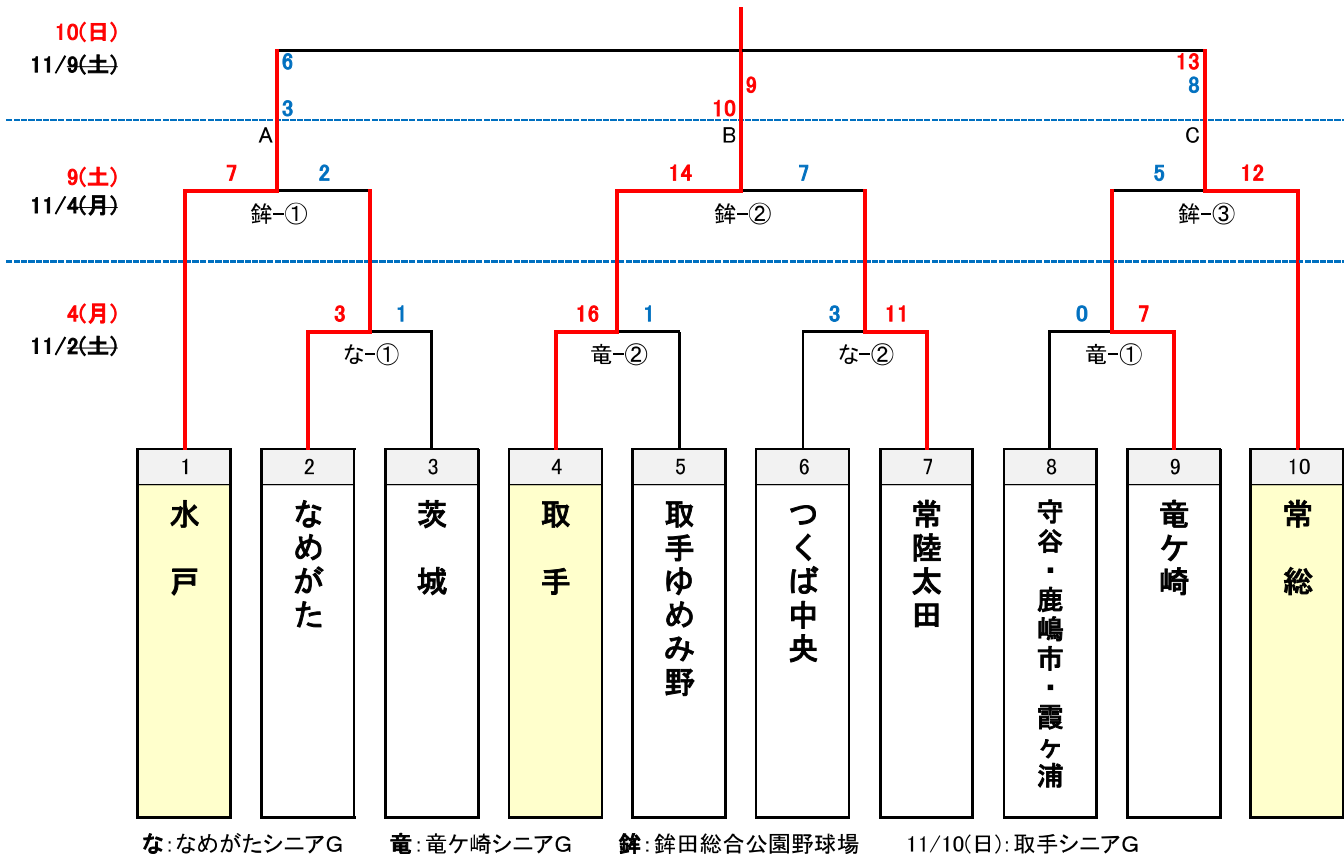


2024 茨城ブロック フレッシュマン大会 要綱

出場資格	茨城ブロック10チーム(合同、複数登録チーム含む)
支部大会選考方法	ブロック大会のトーナメント戦及びリーグ戦により上位3チームが支部大会に出場する。
日程・試合開始時刻	11月2日(土)、4日(月)、9日(土) 予備日:11月10日(日) 第一試合9:00、第二試合11:00、第三試合13:00を原則とする。
審判員	支部派遣審判員並びに帯同審判員
大会規則	<ul style="list-style-type: none"> ● 関東連盟大会規則による。ただし、決勝戦にも4回10点、5回7点のールドゲームを適用する(3回13点を取り入れる)。 ● 7回終了時もしくは、2時間を超えては新しいイニングには入らず、タイブレークに入る。(決勝リーグも同様) ● タイブレークは3回まで継続できるが未決着の場合は抽選とする。(決勝リーグも同様) ● 組み合わせ表の若番チームを1塁側とする。 ● 整列してのメンバー確認は行いません。選手カードとメンバー表のみの資格審査となります。 ● メンバー表記載の際、誤りのないよう注意願います(ポジション、背番号など)。 ● チームはグラウンド到着後速やかにメンバー表と選手カードおよび合同チーム、複数出しのチームは登録書を提出願います。用具確認はこれまでと変わらず実施致します。 ● 投球制限は、日本リトルシニア関東連盟ガイドラインによる(様式Aと無記載の様式Bを本部に提出)。 ● 決勝リーグ戦は、第1試合は若いチームからの組合せ、第2試合は第1試合の敗者対残りチームとする。 ● 巴戦の場合、3チームが1勝1敗で同率のときは巴戦2試合の失点率の小さいチームを上位とする。それでも同点のときは、イニング数の多いチームを上位とし、それでもなお同点のときは、くじ引きとする。
荒天時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 大雨等明らかに無理な場合を除き、天候不良の場合でも第1試合のチームは、基本的にグラウンド責任者に連絡することなく開始時間1時間前迄に集合すること。 ● グラウンド責任者は、天候不良の場合、天気予報、グラウンド状態を勘察し、ブロック競技部長(柏理事)と協議のうえ、極力早く中止又は待機を決定し該当チームに連絡する。 ● 種々の都合により試合時間、グラウンド、審判員の配置等を変更することがある。
グラウンド提供チームにやっていただくこと	<ul style="list-style-type: none"> ● グラウンド使用料、役員・審判員弁当代の徴収、領収書発行。 ● 役員および審判員の弁当手配(700円程度)。 ● グラウンド責任者は、試合経過を関東連盟のHPにアップする。
グラウンド使用料	<ul style="list-style-type: none"> ● 各チームは、当日朝グラウンド使用料として1試合当たり2,500円を提供チームに支払う。 ● 公営グラウンドの場合は3,000円を支払う。
試合球	<ul style="list-style-type: none"> ● 試合球は、協会の公認契約スポーツメーカーの刻印が確認できる硬式球とする。 ● 試合開始前メンバー表(5枚)交換時に3球、試合中不足分はその都度拋出する。 ● 試合後、試合球は両チームに返却する。
ロジン	試合で使用使用するロジンバックは、メンバー表交換時に確認し、両チームで管理する。
役員・審判員弁当代	各チームは、役員および審判員の分として購入金額(800円/人)を出場チームで均等に割った金額を弁当代として提供チームに支払う。

第1代表:取手 第2代表:常総 第3代表:水戸



1回戦 11/2(土) 4(月) 結果

グラウンド	第1試合	第2試合	第3試合
竜ヶ崎G	8 守谷・鹿嶋市・霞ヶ浦 0 - 7 9 竜ヶ崎	4 取手 16 - 1 5 取手ゆめみ野	
なめがたG	2 なめがた 3 - 1 3 茨城	6 つくば中央 3 - 11 7 常陸太田	

2回戦 11/4(月) 9(土) 結果

グラウンド	第1試合	第2試合	第3試合
鉾田 総合公園	1 水戸 7 - 2 2 なめがた	4 取手 14 - 7 7 常陸太田	9 竜ヶ崎 5 - 12 10 常総

決勝L 11/9(土) 10(日) 結果

グラウンド	第1試合	第2試合	第3試合
取手 G	A 水戸 3 - 10 B 取手	A・Bの敗者※ 水戸 6 - 13 C 常総	A・Bの勝者 取手 9 - 8 C※ 常総

※ベンチは移動しない

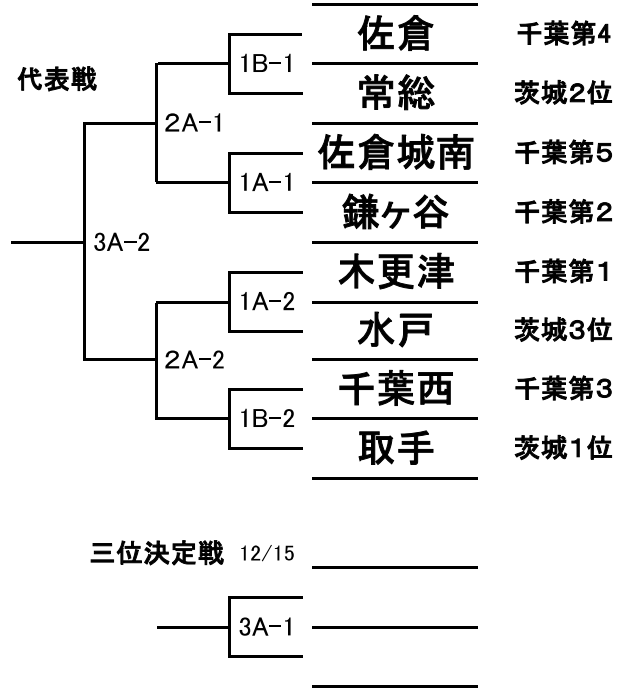
※ベンチは移動しない

第18回成田国際空港杯フレッシュマン大会(代表戦)

12/15 12/01 11/24

千葉第1代表	木更津
千葉第2代表	鎌ヶ谷
千葉第3代表	千葉西
千葉第4代表	佐倉
千葉第5代表	佐倉城南
茨城1位	取手
茨城2位	常総
茨城3位	水戸

優勝	
準優勝	
第三位	



月日	記号	試合球場	審判員	月日	記号	試合球場	審判員
11/24	1A	佐倉G	派遣審判				
11/24	1B	常総G	派遣審判				
12/1	2A		派遣審判				
12/15	3A		派遣審判				

※常総G: 茨城県立坂東総合高等学校 野球場
住所 茨城県坂東市逆井2833-115

2024関東連盟秋季大会タイムテーブル

第一試合

※7時30分グラウンド借り入れ会場の場合

Aタイプ (7分7分が有る場合)		Bタイプ (7分7分が無い場合)	
7:40分迄に提出物(※1)を本部席(理事)へ提出して下さい		7:40分迄に提出物(※1)を本部席(理事)へ提出して下さい	
7:30	グラウンド借り入れ 理事・審判員集合・ミーティング	7:30	グラウンド借り入れ 理事・審判員集合・ミーティング
7:40	グラウンド解放 グラウンドイン後ベンチ前に用具を 並べて用具チェック。 ※ 攻守決め・バックネット前又は本部席 その後外野でアップ ※寒い時はバッテリーに限りボールの 使用を可能とする場合がある。 (理事の判断)	7:40	グラウンド解放 グラウンドイン後ベンチ前に用具を 並べて用具チェック。 ※ 攻守決め・バックネット前又は本部席 その後外野でアップ キャッチボール・トスバッティング シートノック迄可能
8:20	トスバッティング (7分以内) &キャッチボール (7分以内)		
8:40	シートノック開始 (7分以内)	8:40	シートノック開始 (7分以内)
9:00	試合開始	9:00	試合開始

※第一試合開始は原則9:00とし、1日3試合予定・天候によっては早めの開始は可能とします。

第二・第三試合

第二試合目以降のチームはグラウンド到着後速やかに提出物(※1)を本部席(理事)への提出をお願い致します。
本部役員はアップ会場や用具チェックの時間やタイミングを説明する。
※4回終了を目安に攻守決めを行う。
※用具チェックは原則グラウンドイン後に行う。

※当日のグラウンドコンディションや天候などにより予定のタイムテーブルと異なる事もあります。

※1) 提出物 (選手カード・指導者カード・メンバー表・投球数確認シート (様式A))

グラウンド到着後、速やかに監督が本部席 (理事) への提出をお願い致します。

※今年より選手を並べての資格審査は行いません。(選手カードとメンバー表の照合のみとなります)

リトルシニアの投球数制限に関する統一ガイドライン

日本リトルシニア中学硬式野球協会

投手の投球数制限に関しては、次に掲げるリトルシニア独自のガイドラインに基づくものとする。

1日最大90球以内とする。

(投手 A～F)

連続する2日間で130球以内とする。

(投手 ABCE)

3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。

(投手 D・E)

上記の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。

(投手 A・D・E)

大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球を可能とする。

(投手 F)

打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒及び、20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。

(例：2ボール・1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)

雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。

万が一制限数を超えて投げられた投球も有効とする。

異なる大会であっても、連日投球する投手は、この統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

投手の投球数制限における投球可能数のケース

(投球数)

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	予備日	
投手 A	90 (93)	40 (46)		90	40 (42)		90 (92)	・・・ 上記
投手 B		79	51 (56)		44	86 (91)		・・・ 上記
投手 C			40	90 (95)		89	41 (45)	・・・ 上記
投手 D	68	22 (26)	40 (42)		87	3 (6)	40 (45)	・・・ 上記
投手 E	82	第一試合 21		46	第一試合 25	40 (46)		・・・ 上記
		第二試合 27(30)			第二試合 19(22)			
投手 F	90 (95)		90		90 (94)		90 (92)	・・・ 上記

()内は打席の途中で制限数に達し、当該打者の打席終了まで実際に投じた投球数を示す。

以上

< 様式 A >

試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】 (試合終了後チームで保管)

大会名 : 2024年 茨城ブロックフレッシュマン大会

チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		/		/		/		/		/		/		/		/	
対戦相手		vs		VS		VS		VS		VS		VS		VS		VS	
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事(役員)確認サイン																	
球場責任審判員確認サイン																	
監督確認サイン																	

【投球数制限】

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投げた投球数を()内に記入する。

1日最大90球以内とする。
 連続する2日間で130球以内とする。
 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
 上記の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
 打者に対して投げた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投げた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
 万が一制限数を超過して投げられた投球も有効とする。
 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いいたします。

【本シートの運用方法】

試合終了後、**投球数カウント係が記入した本シート(原本)に球場責任審判員がサイン**後、球場責任理事(役員)及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
 監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
 監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
 注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

< 様式 B > (1 試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2024年 茨城ブロック フレッシュマン大会

チーム名 : _____

試合日 : 2024 年 月 日 (第 試合)

球場名 : _____

< 記入例 >		上段：投球数を正の字で記入					下段左：その回の投球数			下段右：累計の投球数			
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注) 五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記入欄 】		注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB - 1	TB - 2	TB - 3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】

1 日最大90球以内とする。

連続する2日間で130球以内とする。

3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。

上記の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。

大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。

打者に対して投じた投球がバークとなった場合は、投球数にカウントする。

また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。万が一制限数を超過して投げられた投球も有効とする。

異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

様式 B ` やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。

試合終了後、責任審判員が保管する。